



平成29年6月1日

和の恵み、歯の恵み

社会福祉法人藤花学園 北野保育園

園長 田中 裕

「食」が今年度の保育のテーマになりました。どういう経緯で「食」となったのか、昨年の「踊る」、一昨年の「うたう」からの流れはどうか、といったことはこれから園だよりの号外で詳しくお伝えします。

新年度が始まって2か月が過ぎましたが、このごろ給食の「残食」が少なく、子どもたちは旺盛な食欲を見せています。「食べる」ことに対して意欲があることは「生きる力」の原初的な営みです。また、給食が和食中心で、薄味であることが子どもたちの毎日の「残食なし」を作っているともいえます。

「食」と「歯」は密接な関係にあります。6月4日から歯と口の健康週間がありますが、最近歯科検診では乳幼児の虫歯は少なくなっています。歯を大切にすると、自分の歯でいつまでも食べ物を噛んで飲みこめる、ということが出来ます。これは子どもや若いうちは当たり前のことのようにですが、何十年もたつて高齢になると、そのありがたさに気づかされるそうです。

80歳で20本の歯を残そうという運動がありますが、第一大臼歯(6歳臼歯)という大きな歯を1本失うと、咀嚼力(噛む力)は40%失うと言われています。そして、上下で4本あるこの臼歯が全部そのまま残っている成人は1%しかいないようで、55歳以上の日本人の約400万人が総入れ歯といわれています。介護が必要な高齢者になると病気などの原因もあって咀嚼だけでなく、嚥下力(飲み下す力)も衰えて栄養補給がチューブや胃ろうになってしまうことがあります。口から直接食べ物を摂取する喜びを味わわせたいと、高齢者施設等に往診に行っている寺本先生という歯科医は、一口でも口から食べることを目標にしています。口から摂食していないのに誤嚥性肺炎を起こした高齢者の原因は唾液だった。ところが一口のゼリーを食べ続けるうちに肺炎が治ったのです。寺本先生が「命のワンスプーン」と呼ぶ訪問歯科の治療は、口から食べる幸せをすべての人に感じてほしいという願いが込められているのです。

いつまでもおいしい「食」を味わえるのは健康な「歯」から。「食」は生きる源です。

—6月の行事予定—

6月 2日(金)	体育指導 3~5歳児
3日(土)	徳丸わくわくまつり 2017
7日(水)	誕生会
8日(木)	じゃがいも掘り 4、5歳児 避難訓練
9日(金)	体育指導 3~5歳児
14日(水)	身体測定 5歳児
15日(木)	歯磨き指導 4、5歳児 身体測定 4歳児
16日(金)	体育指導 3~5歳児
19日(月)	身体測定 分園1・2歳児 3歳児
20日(火)	小学生との交流 5歳児 0歳児健診 身体測定 本園1・2歳児
21日(水)	高齢者施設訪問 5歳児 (マイライフ、徳丸ふれあい館)
22日(木)	先生たちと話そう会
23日(金)	体育指導 3~5歳児
30日(金)	体育指導 3~5歳児



マイライフで収穫した野菜です

